※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰ・Ⅱで身につけた書写能力を基盤に、書道Ⅲでは題材や意図にふさわしい書体や書風を選択し、個性的・創造的な作品作りをめざします。
・線質の変化がもたらす書の印象の違いを創作に生かし、主体的な構想に基づく個性豊かな作品づくりを通して書を愛好する精神を育てます。
・言語活動の充実を図り、様々な書を鑑賞することで感性をより高めます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
⑴書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。
⑵書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
③主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解している。 ・書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けている。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫している。 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	漢字の書	・楷書、行書、草書、隷書及び篆書の古典臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と、漢字の書を構成する様々な要素を理解する。 ・各書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する(創作)。	a:各書体の古典の特徴と用筆・運筆とのかかわりについて理解している。(知) a:構想や工夫を意識して表現する技能を身に付けている。(技) b:用筆法により生じる線質の違い、また用具を変えることで出せる表現について構想し工夫している。 c:字形の違いにより生じる文字の雰囲気の違いを考えて取り組もうとしている。 C:主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	仮名の書	・臨書を通じて、古筆の表現形式に応じた構成、また用筆・運筆、線質、字形を理解する。	a:古筆の書美とその表現方法について理解している。(知) b:用筆や線質などの特徴を理解し、書風をいかした表現と構成について構想し工夫している。 b:仮名の古典の価値と美しさを味わって深く捉えている。(鑑) b:古筆に基づく表現技能や墨継ぎや散らし書き等の技能を身に付けている。(技) c:主体的に仮名の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的な仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

	漢字かな交じりの書	目的や用途、意図に応じた表現形式と全体の構成と漢字かな交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 現代の社会生活に生きる書の表現を理解し、個性的･創造的に表現する。 卒業制作作品(創作)	a:線質、墨の濃淡、墨の潤滑、用紙の工夫、また、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。(技) a:作品から感じたことを考え伝えながら理解を深めている。(鑑・知) b:書体や書風、文字の配置等による表現の効果を理解している。(知) c:言葉を効果的に表現する構想を考え、書の良さや美しさを味わて深く捉えている。(鑑) c:主体的に漢字かな交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度